学校番号	302

平成 31 年度　音楽科

教科	音楽	科目	演奏研究Ⅱ（ピアノ）	単位数	１単位	年次	２年次
使用教科書	高校生の音楽２（教育芸術社）						
副教材等							

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・この授業では、ピアノ専攻の生徒が集まって授業を行います。
・教科書と筆記用具、プリントを綴じるためのファイルを必ず持参してください。
・この授業では、専攻実技や音楽理論、音楽史などで学んだことを基礎として、将来にプロの音楽家として必要とされる総合的な力を身につけます。

総合的な力とは（２年次）

① 楽曲を分析し、調べたことを言葉によりまとめる力
＝プログラムノートや楽曲についての分析レポートを自分で作成できる力

② 演奏会を企画・実演する力＝舞台マナーの向上、演奏会の成り立ちを学ぶ、自主演奏会の企画・運営・実践、演奏発表の振り返りと分析を行う力

③ 楽器の特徴を踏まえた演奏解釈、アンサンブル能力を身につける

④ 他楽器の特徴を知り、スコアリーディングの基礎知識を身につける

⑤ 和楽器の演奏技術と音楽理論で培った創作を応用し、ハワイのプナホウ高校と国際交流を行い、プナホウ高校の卒業ソングを創作しテレビ会議を通じて海を越えたコンサートを実施する。（約６時間）

2　学習の到達目標

音楽作品についての演奏研究を通して、演奏における客観性と多様性を理解し、音楽の様式を尊重して演奏する能力を養う。

3　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:音楽への関心・意欲・態度	b:音楽表現の創意工夫	c:音楽表現の技能	d:鑑賞の能力
観点の趣旨	音楽作品についての演奏研究を通して、主体的、創造的に音楽の学習に取り組もうとしている。	音楽作品についての演奏研究を通して、音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きを感受しながら、楽器表現を工夫し、表現意図を持っている。	音楽作品についての演奏研究を通して、創意工夫を生かした音楽表現をするための技能を身に付け、創造的に表している。	音楽作品についての演奏研究を通して、音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きを感受しながら、価値判断し、音楽に対する理解を深め、よさや美しさを創造的に味わっている。
評価方法	観察 ワークシート	観察 演奏聴取 ワークシート	観察 演奏聴取	観察 ワークシート

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
前期	いろいろな表現の可能性を知る①	・ピアノアンサンブル ・様々な演奏家、編曲作品の比較演奏 ・演奏発表	○	○	○	○	a:ピアノアンサンブルに関心をもち、それらを生かして主体的に取り組もとしている b:音楽表現を工夫し、どのように演奏するかについて表現意図をもっている c:音楽表現をするために必要な奏法や呼吸法、姿勢、身体の使い方などの技能を身に付け、創造的に表している。 d:作曲者による表現の特徴を理解して、よさや美しさを創造的に味わって聴いている	観察 ワークシート 演奏聴取
後期	いろいろな表現の可能性を知る②	・ピアノ伴奏 (イタリア歌曲を中心に) ・スコアリーディング ・様々な演奏家・編曲作品の比較演奏 ・プナホウ高校との海を越えたコンサート テレビ会議を通じた交流を行い、卒業ソングにふさわしい歌詞について相談する 歌詞のイメージに合った曲に和楽器を使って創作する テレビ会議を通じて創作した曲で演奏会を行う	○ ○	○ ○	○ ○	○	a:ピアノの音色や奏法の特徴を生かし、アンサンブルしようという意識をもって、主体的に取り組もうとしている。 b:曲想を楽曲の背景や歌詞等との関連性を理解し、どのように演奏するかについて表現意図をもっている。 c:音楽表現をするために必要な奏法や技能を身に付けている d:演奏者による表現の特徴などに関心を持ち、鑑賞に主体的に取り組もうとしている	観察 ワークシート 演奏聴取